地方独立行政法人 市立秋田総合病院地域連携誌

No.51
2023年 4月

らしん盤
THE COMPASS

表紙撮影：理事長・院長　伊藤誠司　「新年度を迎えて」

理事長・院長
伊藤　誠司

理事長・院長挨拶

令和５年度４月で新病院の開院から７か月目を迎えました。2020年から世界中に蔓延した新型コロナウイルス感染症は完全な制御に至らず未だにくすぶり続けていますし、2022年２月に始まったロシアのウクライナへの侵略戦争も長期化して、日本の社会不安や経済停滞や急激な物価上昇などの原因となり、人々の日常生活にも大きな影響を及ぼしております。４月からのマスク着用の自己判断や５月からのコロナ感染症が５類感染症への格下げなど医療においても先の見通せない不安材料が存在しております。このような状況を乗り越えてより充実した医療を市民に届けるためには関係医療機関との密接な連携が重要であると思っております。連携紙やホームページによる情報提供に加えて、患者サポートセンターの機能拡充にも継続的に取り組んでいきますのでこれまでと同様にご指導ご鞭撻くださいますようによろしくお願い申し上げます。

令和５年４月には沢山の新入職員が加わりました。別ページでご案内のごとく各診療科でも退職した医師と新たに赴任した医師がありましたが、これまでの診療機能の維持向上とともに、診療機能の新たな展開もございますので患者様のご紹介や逆紹介を通して当院の持つ診療機能をご活用してくだされば幸いです。

今後も当院の理念である「すべての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続ける」ことに注力していきますのでよろしくお願いいたします。

副院長・
患者サポートセンター長
石田　俊哉

気持ちを新たに

この度、副院長ならびに患者サポートセンター長を拝命いたしました。これまでは泌尿器科医として主に臨床に力を注いできましたが、これからは病院全体に目を配らせていきたいと考えています。とくに患者サポートセンターは、人員も増やして入退院支援やがん診療サポートなど、今まで以上に充実した運営を心がけていく所存です。また秋田市医師会理事を５年務めさせていただいた経験も踏まえ、地域連携にも尽力したいと思います。

患者さんにも医療関係者にも信頼され、かつ職員は楽しく充実して働ける病院が理想です。微力ながら気持ちを新たに頑張りたいと思いますので、皆様何卒よろしくお願いいたします。

地方独立行政法人
市立秋田総合病院
〒010-0933 秋田市川元松丘町4-30　[TEL]018-823-4171（代表）　[FAX]018-866-7026（代表）
[e-mail]ro-homd@city.akita.akita.jp　[URL]https://akita-city-hospital.jp/

退任のあいさつ

前 副院長・患者サポートセンター長　中根　邦夫

３月31日を持ちまして患者サポートセンター長を退任することになりました。これまでの医療機関の先生方や施設の職員の皆様方のご支援、ご協力に厚く御礼申し上げます。2020年４月に地域医療連携室長を拝命して以来、スムーズな連携を目指して尽力してまいりましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染拡大のため十分に責務を果たすことができませんでした。そのような状況の中で新たな発見もありました。コロナ禍で人が集まって講演会や研修会を行えないため、新たな試みとしてWEB形式で開催したところ予想以上の好評を頂きました。今後もWEB開催を継続していきたいと考えています。2022年10月に新病院開院に際して地域医療連携室も患者サポートセンターと名称変更いたしました。患者サポートセンターでは機能強化を図り、医療連携だけでなく入退院支援や医療相談など、患者さんにまつわる業務をすべて集約して、ワンストップで手続きができるように利便性の向上にも努めました。４月からはさらにベッドコントロールも患者サポートセンターで行い、スムーズな入退院に努めていきたいと思います。今後も患者サポートセンターへのさらなるご指導、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。３年間という短い期間ではありましたが、大変お世話になりありがとうございました。

当院の不整脈診療は４月以降も変わりありません。

前副院長　阿部　芳久

今年３月末で副院長の職務を終えました。当院赴任以降、数多くの手術を行うことができました。これは皆様方から貴重な症例をご紹介いただけたからできたことであり、心より感謝申し上げます。

カテーテルアブレーションは、頻脈性不整脈のファーストライン治療と位置づけられています。ただし秋田県は人口あたりの施行数が少ない県のひとつであり、多数例の治療ができる施設を育てることが県全体の循環器診療のあり方としても重要な課題でした。多くのご支援のもとで３年前の１月に治療を開始し、全県から患者さんをご紹介いただいております。今年は年間200例を目標に症例を積み重ねていきたいと考えています。

また、デバイス治療の進歩はめざましく、ペースメーカーの分野でも植え込み後５％程度に生じるとされる心機能低下を予防するため左脚領域ペーシングが登場しました。現在この方法を一貫して行っているのは当院だけであり、この分野でも全国レベルの治療を維持できるよう努めて参ります。

就任のあいさつ

副院長　藤原　敏弥

私が当院に赴任した28年前、私の所属する循環器内科は医師３人態勢で、経皮的冠動脈形成術（PCI）やカテーテル心筋焼灼術（アブレーション）など今では当たり前の治療が、まだできない施設でした。それが今やPCIもアブレーションも県内有数の実績を誇るまでに成長しました。同様に当院の多くの部門で、当時は不可能であった新たな治療が可能になっており、28年間での医療の進歩と当院の成長を実感しています。

当院は建て替えを終えダビンチなど最新の機材も導入され、新たなスタートを切りました。真新しい病院で、これまで培った技術を生かして先進的な治療ができることは、患者様のみならず我々医療者にとっても大きな喜びとなっております。患者様の笑顔のために、この喜びを忘れずに全病院一丸となってより良い医療を実践し続けたいと思います。

今回副院長の任に着くことになりました。地域医療のため、また更なる病院の発展のため、微力ながら職務を全うする所存です。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

第52回 市立病院地域医療連携の会のご案内

◎日時／令和５年６月８日（木）18:40～20:30　◎場所／当院講堂およびオンライン（zoom）ハイブリッド開催

18:40～19:00　理事長　実績報告

●市立秋田総合病院実績報告　理事長　伊藤　誠司

18:50～19:20　mini lecture＆紹介症例検討

「大腸がんロボット手術」　消化器外科　大腸外科長　陳　開

19:30～20:30　特別講演

「乳腺ＭＲＩ：回想と臨床研究の展望」

秋田大学大学院医学系研究科医学専攻　病態制御医学系　放射線医学講座

教　授　森　菜緒子 先生

本会は日本医師会生涯教育講座（1.0単位、CC15）として申請しております。

お申し込み方法

二次元バーコードをスマートフォン等で読み取り、申し込み入力フォームよりお申し込みください。

●申込締切：**令和５年６月１日（木）**

新任採用医師紹介（16名）令和５年４月１日採用　❶認定医・専門医　❷自己紹介

糖尿病・内分泌内科　船越（ふなこし）　苑子（そのこ）　秋田大学・2020年卒

❶なし
❷糖尿病･内分泌内科の船越苑子と申します。初期研修でお世話になった市立病院でまた勤務することができ光栄であると同時に、身の引き締まる思いです。初心を忘れず、地域医療へ貢献できるよう精進して参ります。よろしくお願いいたします。

糖尿病・内分泌内科　大髙（おおたか）いずみ　秋田大学・2013年卒

❶日本内科学会認定内科医・日本糖尿病学会専門医
❷秋田厚生医療センターで初期研修後、秋田大学医学部附属病院での勤務を経て、こちらに赴任させていただきました。地域医療に貢献できるよう精一杯がんばりますので、よろしくお願いいたします。

消化器内科　松山（まつやま）　磨理（まり）　秋田大学・2019年卒

❶消化器内科　専修医
❷秋田大学を卒業後本荘第一病院で初期研修を終え、秋田大学医学部付属病院、由利組合総合病院を経てこの度市立秋田総合病院で消化器内科としてお世話になります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

消化器内科　木村（きむら）　和哉（かずや）　秋田大学・2021年卒

❶なし
❷今年度から消化器内科として働かせていただきます、医師3年目木村和哉です。昨年度までは研修医として大変お世話になりました。各科の先生方にご指導いただいたことを胸に日々精進していきたいとと思います。どうぞよろしくお願い致します。

外科・消化器外科　陳（ちん）　開（かい）　秋田大学・2013年卒

❶ロボット支援手術認定プロクター、内視鏡外科技術認定医など
❷ロボット手術数が日本一の静岡がんセンター大腸外科で1000例以上経験し、ロボット手術を指導可能なプロクターという資格も取得しました。手術はもちろん大腸癌治療は戦略も重要です。最先端の治療を提供致します。

外科・消化器外科　河村（かわむら）　七彩（ななせ）　秋田大学・2021年卒

❶なし
❷今年度から消化器外科を専攻しております河村七彩と申します。研修医の頃よりお慕いしておりました外科の先生方とお仕事ができることを本当に嬉しく思います。まだまだ未熟者ですが、楽しみながら日々邁進してまいります。

外科・消化器外科　髙橋（たかはし）るしあ　秋田大学・2021年卒

❶なし
❷昨年度までは研修医として大変お世話になりました。今年度からは消化器外科の一員として働かせていただきます。一人前の外科医になれるよう精一杯精進して参りますので、何卒よろしくお願いいたします。

産婦人科　伏見（ふしみ）　和人（かずと）　秋田大学・2019年卒

❶なし
❷専攻医２年目の伏見と申します。至らぬ点は多々ありますが、一生懸命頑張ります。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。

放射線科　石山（いしやま）　公一（こういち）　秋田大学・1996年卒

❶放射線診断専門医、核医学専門医、IVR専門医、乳腺認定医
❷画像診断医です。主に診断の分野にて、患者さんや各科の先生方のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願い申し上げます。

脳神経内科　猪股（いのまた）　拓海（たくみ）　秋田大学・2018年卒

❶なし
❷国立病院機構あきた病院から参りました脳神経内科の猪股拓海と申します。初期研修と後期研修の２年間は市立秋田総合病院の勤務でしたので１年ぶりに復帰となりました。内科専門医、神経内科専門医取得に向けて勉強中の立場でございますので皆様のご指導の程宜しくお願い致します。

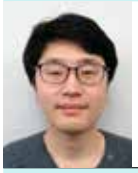
脳神経内科　安田（やすだ）　圭太（けいた）　岩手医科大学・2019年卒

❶なし
❷今年度、秋田大学医学部附属病院から異動してきました。脳神経内科の安田圭太と申します。患者様のお役に立てるように、日々研鑽を積み重ねたいと考えております。宜しくお願い致します。

脳神経内科　舟坂（ふなさか）　百叶（ももか）　秋田大学・2021年卒

❶なし
❷初期研修に引き続き、市立秋田総合病院で後期研修をさせて頂きます。秋田の医療に貢献できるよう日々精進して参ります。何卒よろしくお願いいたします。

泌尿器科　佐藤（さとう）　一馬（かずま）　秋田大学・2021年卒



❶なし
❷初期研修から引き続き市立で勤務させていただきます。今年度からは泌尿器科医として臨床の場に立たせていただきます。至らぬ部分が多々ありますが、早く一人前となれるよう精進いたします。

小児科　平野（ひらの）　修平（しゅうへい）　秋田大学・2012年卒

❶小児科専門医
❷本年度より小児科勤務となりました平野と申します。初期研修以来の勤務となります。初心を思い出し、頑張っていきます。

麻酔科　鵜沼（うぬま）　篤（あつし）　秋田大学・2016年卒

❶厚生労働省認定麻酔科標榜医・日本麻酔科学会認定医
日本専門医機構認定麻酔科専門医・日本禁煙学会認定指導医
❷３年ぶりにお世話になります。新病院での勤務となり、気持ちが高まっています。安全な麻酔管理に努めます。医学教育の研究・研修にも取り組んでおり、臨床にも役立てたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。

精神科　藤原（ふじわら）　桃（もも）　秋田大学・2020年卒

❶なし
❷藤原桃と申します。まだまだ未熟ですが誠実に丁寧に取り組み日々精進いたしますので、何卒よろしくお願いいたします。

１年次研修医紹介（６名）

倉光（くらみつ）　佳澄（かすみ）　秋田大学・2023年卒

研修医１年目の倉光佳澄と申します。２年間の研修期間、１日１日を大切に様々なことに挑戦していきたいです。感謝の気持ちを忘れずに日々励んでいきます。ご指導のほどよろしくお願い致します。

小林（こばやし）　千華（ちはる）　秋田大学・2023年卒

研修医１年目の小林千華です。謙虚な心と感謝を忘れず、一歩一歩着実に医師として成長していきたいと思います。至らぬ点ばかりでご迷惑をかけることがあると思いますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。

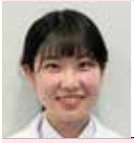
坂本（さかもと）　秀（しゅう）　秋田大学・2023年卒

研修医１年目の坂本秀と申します。学生実習の際に大変お世話になったこの病院で研修させていただくことを光栄に思います。精一杯頑張りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

田森（たもり）　優菜（ゆうな）　秋田大学・2023年卒

生まれ育った秋田で医療に携われることを大変嬉しく思います。至らぬ点ばかりかと思いますが、１つでも多くのことを吸収し、みなさまの力になれるよう日々努力してまいります。よろしくお願いいたします。

千葉（ちば）　光（ひかる）　秋田大学・2023年卒



研修医１年目の千葉光と申します。至らない点ばかりではありますが、感謝の気持ちを忘れずに、少しでも秋田の医療に貢献できるよう精進してまいります。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

橋本（はしもと）　翔真（しょうま）　東北医科薬科大学・2023年卒

４月から初期研修医としてお世話になります橋本翔真と申します。秋田の医療に貢献できる医師になれるよう、日々研鑽を積んでいきますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

令和５年　異動医師

（2023年３月異動医師）

◎糖尿病・内分泌内科
- 赤沼　英……秋田大学医学部附属病院
- 若林　茜……大曲厚生医療センター

◎産婦人科
- 下田　勇輝……ゆうきクリニック開業

◎精神科
- 佐々木直人……大館市立総合病院

◎脳神経内科
- 深谷　浩史……広南病院
- 金澤瀬莉香……秋田大学医学部附属病院

◎小児科
- 秋山　光司……雄勝中央病院

◎脳神経外科
- 柴田　憲一……平鹿総合病院

◎整形外科
- 久田　朱里……能代厚生医療センター

◎泌尿器科
- 佐藤知奈美……秋田大学医学部附属病院

◎麻酔科
- 佐々木夏貴……秋田大学医学部附属病院

最新機器のご紹介

整形外科手術支援ロボティクス「Mako（メイコー）システム」について

副院長（整形外科）　木村　善明

下肢関節の機能障害を来す疾患には変形性関節症、関節リウマチ、外傷、化膿性関節炎など様々な疾患があります。保存療法に抵抗する疼痛、変形、歩行障害などの関節機能障害に対しては、患者の状態に応じて関節鏡手術、骨切り術、人工関節手術などが選択されます。

なかでも人工関節手術は長期予後に優れ、また患者満足度において股関節は90％を超えており、膝関節でも80％となっています。良好な術後成績を得る基本は正確な人工関節の設置ですが、骨形態の個体差、軟部組織の条件、術者の技量等によって手術精度のばらつきが生じます。これを解決するためにコンピューター支援によるナビゲーション手術が、そして更に正確に安全に術前計画を手術室で再現できるロボティクス手術が登場しました。当院では新病院において、全国で50施設目となる人工関節置換術用手術支援ロボティクス「Mako（メイコー）システム」を導入し、2022年11月２日から膝および股関節手術への利用を開始しています。

その主な特徴は以下の３点です。

- 術前CT検査から得られた患者固有の手術計画をシステムに入力し、手術中に再現する。
- 術中の靱帯バランスの確認と微調整が容易。
- 術前計画外に骨切りが及ぶことがなく、執刀医の手術操作を安全に正確に支援する。

上記の特徴により、人工股関節置換術では術後脱臼率の低減が得られ、また膝関節においては従来法で正確な人工関節設置に必須であった大きな軟部組織の展開および骨切りガイドの設置は不要となり、骨･軟部組織への侵襲が少なくなるので、脂肪塞栓、出血、感染といった術後合併症のリスクが低減し術後疼痛も軽減します。さらに、人工膝関節置換術では近年、患者さん本来の下肢アラインメントを再現することが患者満足度を高めると言われており、これについても従来法よりも正確な再現が可能となります。

このように、Makoを用いた人工関節置換術は従来法に比して早期の関節機能回復、患者満足度の向上および再置換率の低減が図れます。

膝の痛みや股関節の痛みで日常生活が大きく損なわれている患者さんが、健康的で自立した生活を再び送ることができるよう、当院ではMakoを用いた手術を積極的に行ってまいります。患者さんのご紹介をよろしくお願い致します。

Mako（メイコー）システム

術中写真（当院）

最新機器のご紹介

サイボーグ型ロボットHAL®を用いた神経筋難病治療

脳神経内科　科長　大川　聡

徐々に筋力が低下する神経筋難病において画期的な治療法が開発されました。それは薬物ではなく、サイボーグ型ロボットHAL®（Hybrid Assistive Limb®）を用いた歩行リハビリテーション治療です。脳神経内科ではリハビリテーション科と共同し、2023年４月より本格的にこの治療を始める事になりました。HAL®による歩行訓練を行う事で、日常生活にて歩行距離が延び、歩行速度が速くなる、などの歩行機能だけでなく、椅子からの立ち上がりが楽になるなど動作全般における機能向上を認める方がおられます。

■対象疾患

現在、保険診療での適用が認められているのは、緩徐進行性の神経･筋疾患である下記８疾患となります。

- 脊髄性筋萎縮症
- 遠位型ミオパチー
- 球脊髄性筋萎縮症
- 封入体筋炎
- 筋萎縮性側索硬化症
- 先天性ミオパチー
- シャルコー・マリー・トゥース病
- 筋ジストロフィー

今後、HTLV-I関連脊髄症：HAM、遺伝性痙性対麻痺症の２疾患も追加される予定です。これらは進行性に運動機能が障害される難病であり、運動機能に対する治療法開発が待たれていました。

■HAL®を使用している様子

リハビリは、以下の写真のようにハーネスで患者さんを自然な姿勢に保ち、HAL®を装着して１日20－30分歩行するだけです。これを週２－３回、連続して計９回行います。

HAL®

HAL®を使用している患者さん

■なぜHAL®を装着して歩くだけで日常生活の歩容が改善するのか？

「ロボットをつけて１日30分ほどリハビリするだけで実際に歩けるようになるの？」

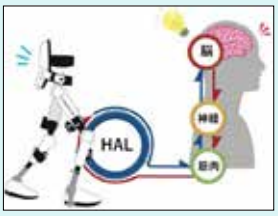
そう思われる方も多いのではないかと思います。HAL®は筋力を増強させるリハビリ機器や介護用ロボットではありません。患者さんの自立動作を支援する装着型ロボットで、患者さんの短期間で効果的なリハビリを可能にします。

人間の神経系には、傷害による制約に対応してその構造や機能を変化させる能力が備わっているとされます。これを「神経可塑性」と呼びますが、神経可塑性は簡単に働くものではありません。歩行障害を例にあげましょう。歩行時､患者さんの脳は「両下肢動かす」という運動信号を､運動神経を介して筋肉に伝えます。そして、実際に下肢が動いた運動の情報は、筋肉から感覚神経を介し脳に戻り、患者さんの脳は歩行運動がうまく遂行されたかどうかを判断します。その際、患者さんには運動障害がありますので、脳の運動意図と実際の運動現象には当然、解離が生じます。神経の可塑性を促すには、この解離が出来る限り無くなるレベルに近づくよう、リハビリテーションにて運動学習を繰り返す過程が必要とされます。しかし、現実はそう簡単なものではありません。患者さんの筋力が低下していればいるほど、リハビリのみでこの解離をなくす事は困難ですし、過剰リハビリは傷害筋に負担を強いて病気がますます進む結果にもなりかねません。そこでHAL®は、麻痺が進行しても、脳から運動神経、筋肉を介し皮膚に出てくる微弱な運動信号を体に付けたいくつかのセンサーで感知、即座に解析して瞬時に患者さんの脳が意図する運動をサポートします。これにより、筋力低下が進行していても、患者さんは脳が意図したものに近い運動を行う事が可能になります。そして、その運動情報が筋肉から感覚神経を介し脳に戻り、脳の運動意図と実際の運動現象の解離をより正常に近いレベルで修正する事が可能となります。麻痺が高度な患者さんでも、このような高いレベルでの運動学習を行い神経可塑性による神経筋機能回復を促す事で、HAL®を外しても歩容が改善するとされるのです。

このようにHAL®は装着した患者さんの「動こうとする意思」に基づいて患者さんの動作を助け、神経筋機能回復を促す画期的なサイボーグ型ロボットです。筋力が低下してくると運動を行う事自体が難しいのではと思われる方もおられるかと思いますが、理学・作業療法士の指導のもと適切に訓練を行う事が可能です。

■お問い合わせ

使用をご希望の方は脳神経内科医師による診察が必要となり、受診の際には、基本、かかりつけ医の紹介状が必要となります。お問い合わせは、市立秋田総合病院患者サポートセンターまでご連絡ください。



HAL®の原理

市立秋田総合病院患者サポートセンター
電話番号：018-867-7489（予約センター）

最新機器のご紹介

ガンマカメラ装置とCT撮影装置を一体化した最新型SPECT/CT装置

（シーメンス社製Symbia Pro.Specta）

放射線科　科長　石山　公一

ガンマカメラを更新するため、しばらく検査を中止してご不便をお掛けいたしましたが、更新作業が終了し新しい機器による検査を開始いたしましたのでご紹介いたします。

SPECT/CT装置は、ガンマカメラとCTが一体となった装置であり近年普及が進んでいますが、当院に導入された装置はドイツのシーメンス社製Symbia Pro.Spectaという全国でもまだ数台しか稼働していない最先端の装置です。

SPECT/CT装置とは、ガンマカメラ(SPECT)で通常の核医学検査ができますが、さらにCT撮影を併用することで、以下のようなメリットがあります。

■核医学のSPECT画像とCT画像を重ね合わせた融合画像

SPECTとCTの一体化した装置により、２種の画像が一連の検査で撮影できるようになりました。核医学画像とCT画像が位置ずれなく重ね合わせて表示することができますので、核医学の機能・代謝画像とCTの解剖学的位置・形態情報を一括して観察できるようになります。CTを利用することで従来のガンマカメラ単体装置よりも正確な薬剤（RI）分布を表すことが出来ます。脳血流、心筋、骨、腫瘍などの核医学検査において病変部位を正確に描出することで診断精度の向上が期待されます。

■患者さんの負担軽減

最新型のSPECT/CT装置では、従来装置に比べSPECTにおいては検査時間が短縮、CTにおいては低線量で撮影が可能ですので患者さんの身体的な負担も軽減されます。

当院の核医学検査においては核医学専門技師、核医学専門医が在籍しており、安全で良質な検査を提供しております。もし対象となる患者さんがおりましたら是非ご紹介ください。

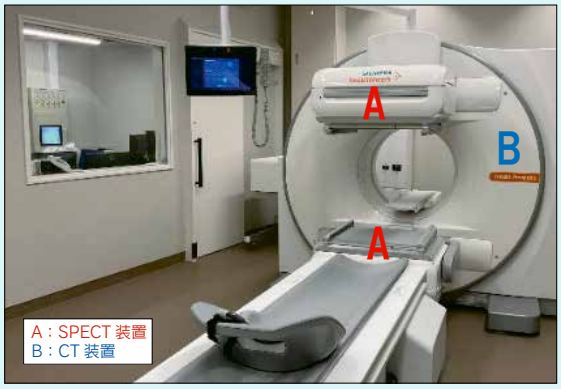
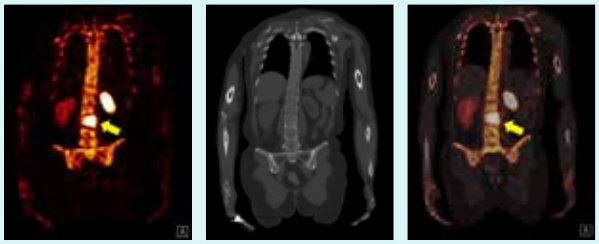


図１：SPECT/CT装置

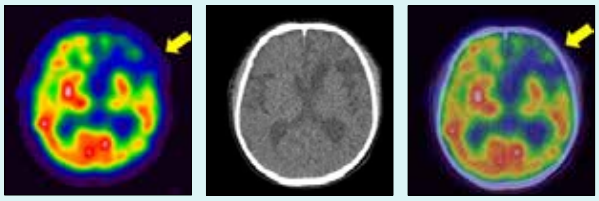
患者さんを移動させずに一連でSPECTとCTの２種の検査を撮影できる。



SPECT画像　CT画像　SPECT/CT融合画像

図２：骨シンチグラフィ

黄矢印は骨転移。集積増加している病変が正確に把握できる。



SPECT画像　CT画像　SPECT/CT融合画像

図３：脳血流シンチグラフィ

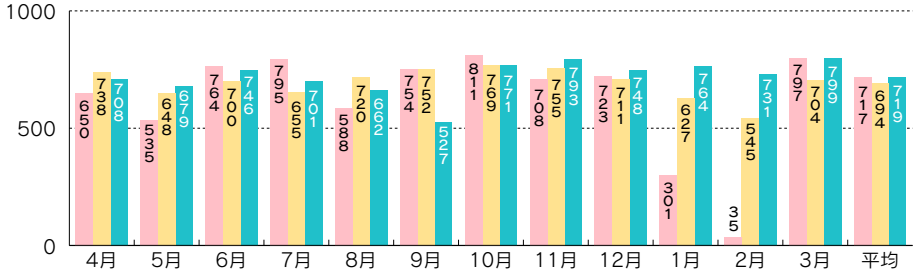
黄矢印は血流低下部位。融合画像により機能画像と形態画像を同時に観察できる。脳血管疾患、認知症の診断に有用。

令和４年度　患者サポートセンター地域医療連携実績報告

日頃、地域医療連携業務を通じ多くの患者さんをご紹介いただき誠にありがとうございます。
令和４年度の実績をご報告いたします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

１．令和４年度紹介件数

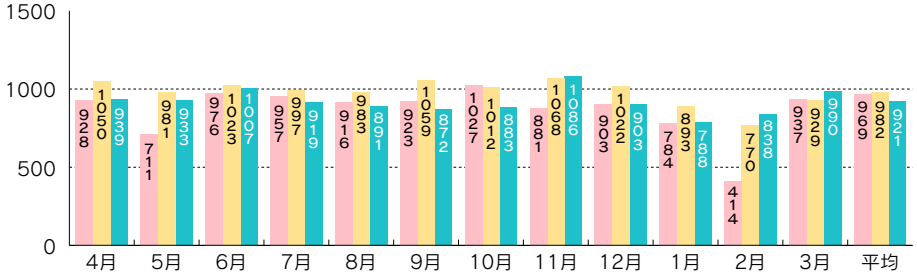
◎月別紹介件数年度比較（R2年～R4年）



年　度	紹介件数
令和４年度	8,629
令和３年度	8,324
令和２年度	7,461

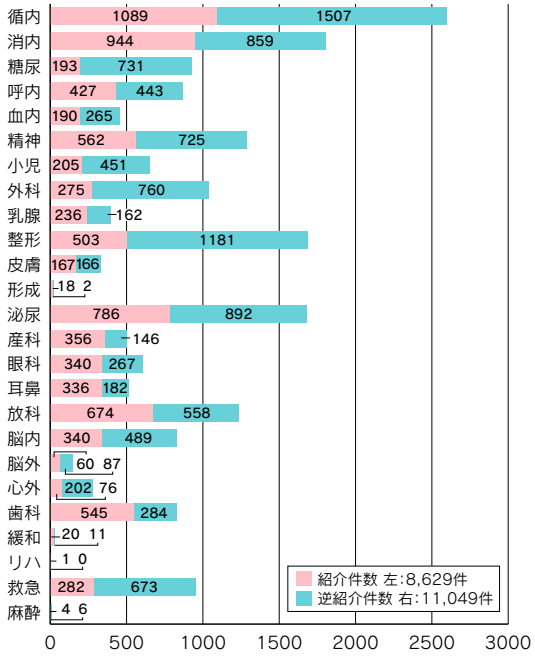
２．令和４年度逆紹介件数

◎月別逆紹介件数年度比較（R2年～R4年）

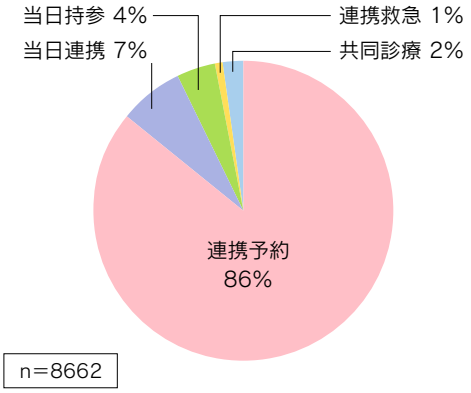


年　度	紹介件数
令和４年度	11,049
令和３年度	11,787
令和２年度	10,357

３．令和４年度診療科別紹介・逆紹介件数



４．令和４年度経路別紹介患者割合



令和３年３月から外来診療完全予約制が徐々に定着したこともあり、予約なしで紹介状を持参した患者さんの割合（当日持参）が昨年度の７％から４％まで減少いたしました。地域の医療機関の皆様には、ご理解とご協力を賜り誠に感謝を申し上げます。

市立秋田総合病院 外来各科担当医一覧表

（2023年４月１日現在）

診療科		月	火	水	木	金
循環器内科	1	柴原　徹	（阿部　芳久）	藤原　敏弥	阿部　芳久	柴原　徹
	2	藤原理佐子	藤原　敏弥	柴原　徹	藤原　敏弥	藤原理佐子
	3	長谷川仁志	若林　飛友	秋大医師	柴原　徹	長谷川仁志
	4	藤原美貴子	藤原美貴子	藤原美貴子	藤原理佐子	藤原美貴子
消化器内科 ※新患で医師指定の場合連携担当にご連絡ください。	新患	津田　聡子	松山　磨理	泉谷　有希	木村　和哉	菅原　佳恵
	1	木村　和哉				松山　磨理
	2	菅原　佳恵	津田　聡子	辻　剛俊	泉谷　有希	津田　聡子
	3	中根　邦夫	辻　剛俊	中根　邦夫	松澤　尚徳	
	4	千葉　満郎	小松　眞史	小松　眞史	小松　眞史	千葉　満郎
	内視鏡（胃）	辻／泉谷／松山	中根／菅原／泉谷	津田／菅原／松山／木村	中根／津田／菅原	辻／松澤／木村
	内視鏡（大腸）	辻／松澤／松山／泉谷	中根／菅原／泉谷／木村	津田／菅原／松山／木村	津田／菅原／富田（第３）片岡（第３以外）	辻／松澤／泉谷／木村
糖尿病・内分泌内科	1	船越　苑子	三浦　岳史	船越　苑子	大髙いずみ	三浦　岳史
	2	大髙いずみ	大髙いずみ	細葉美穂子	細葉美穂子	大髙いずみ
呼吸器内科	新患	奥田　佑道	島田　健吾	伊藤　伸朗	伊藤　武史	長谷川幸保
	再来	伊藤　武史／長谷川幸保	伊藤　伸朗	伊藤　武史	本間　光信	伊藤　伸朗
	再来	本間　光信	伊藤　武史	佐野　正明		本間　光信
	呼吸リハ				塩谷　隆信（午後）	
	ＳＡＳ			（伊藤　伸朗）	（伊藤　伸朗）	
血液・腎臓内科	1	吉岡　智子	吉岡　智子	吉岡　智子	吉岡　智子	吉岡　智子
	2		伊藤　史子			伊藤　史子
	3	政井　理恵	戸沢　凪	政井　理恵	市川　喜一	政井　理恵
精神科	1	藤原　桃	藤原　桃	水俣　健一	藤原　桃	
	2	川北　雄太	水俣　健一	新患	川北　雄太	川北　雄太
	3		小松　宗央	小松　宗央	新患	小松　宗央
	4	内藤　信吾	新患	内藤　信吾	内藤　信吾	新患
小児科	午前（予約・一般）	米山　法子	河村　正成	高橋　まや	平野　修平	島田　俊亮
	午前（予約）	高橋　まや	米山　法子	池田　史圭	米山　法子	高橋　まや
	午前（一般）	池田　史圭	島田　俊亮	小児神経（第１小泉）	池田　史圭	河村　正成
	午前（特殊）	相談（石川）	武田　修	相談（石川） 武田　修	相談（石川） 武田　修	相談（石川）
	午後（予約）	島田　俊亮	乳児健診（米山、河村）	高橋　まや	平野　修平	島田　俊亮
	午後（予約）	高橋　まや	ぴよぴよ（米山　法子）	島田　俊亮	ぴよぴよ（米山　法子）	高橋　まや
	午後（予約）	アレルギー（河村　正成）	島田　俊亮	小児心臓（第３山田）	腎臓（第４田村）	アレルギー（河村）
	午後（予約）	内分泌・代謝（武田） 相談（石川）		内分泌・代謝（武田） LGBT（高橋）	予防接種（石川） 遺伝（高橋）	心臓（島田） 相談（石川）
外科／消化器外科	1	菊地　功	茂木はるか	栗原　由騎	若林　俊樹	新保　知規
	2	佐藤　勤	佐藤　勤	松田　頼樹	陳　開	山田　修平
	3	髙橋るしあ（第１、３、５） ／河村　七彩（第２、４）			菊地　功	
大腸がん肝転移外来	午後（新患）				若林　俊樹（予約のみ）	
乳腺・内分泌外科	1	伊藤　誠司	片寄　喜久	片寄　喜久		片寄　喜久
整形外科 （受付は10時まで）	新患１	木村　善明	若林　育子	本郷　道生（予約のみ）	柏倉　剛	藤井　昌
	再来２	若林　育子	柏倉　剛	野坂　光司（予約のみ）	木村　善明	若林　育子
	再来３	野坂　光司（最終月曜のみ）	藤井　昌			柏倉　剛（予約のみ）
	再来６					
皮膚科	1	林　和紀子	林　和紀子	林　和紀子	林　和紀子	林　和紀子
形成外科	毎週火曜日		手塚　崇文			
泌尿器科	1	前野　淳	佐藤　一馬	高橋　誠	高橋　誠	前野　淳
	2	（高橋　誠）	（里吉　清文）	（三浦　喜子）	（石田　俊哉）	
	3	里吉　清文	三浦　喜子	里吉　清文	冨樫　寿文	三浦　喜子
	4	石田　俊哉	前野　淳	石田　俊哉	里吉　清文	石田　俊哉
産婦人科	1	高橋　道	佐藤　亘	高橋　道		福田　淳
	2	佐藤　亘	高橋　道	軽部　裕子	高橋　道	軽部　裕子
	3		福田　淳		福田　淳	
	産科	軽部　裕子		福田　淳		佐藤　亘
眼科	1	阿部　早苗	阿部　早苗	阿部　早苗	阿部　早苗	阿部　早苗
	午後	岩瀬　剛		太田　悠介		
耳鼻咽喉科	1	高橋　雅史	高橋　雅史	高橋　雅史	高橋　雅史	高橋　雅史（予約）
	2	工藤　和夫	工藤　和夫	工藤　和夫	遠藤天太郎	工藤　和夫
放射線科		石山　公一／平野　義則	石山　公一／平野　義則	石山　公一／平野　義則	平野　義則	石山　公一／平野　義則
放射線治療		橋本　学	秋大医師	橋本　学	橋本　学	
ペインクリニック外来	月・火・金	長崎　剛	佐藤　ワカナ			長崎　剛
リハビリ					若林　育子	
脳神経内科	1	大川　聡	大川　聡	大川　聡	あきた病院医師／舟坂　百叶（午後）	大川　聡
	2	安田　圭太	（猪股　拓海）	猪股　拓海		（安田　圭太）
脳神経外科					田村　晋也（午後）	秋大医師
心臓血管外科	午前	白戸　圭介		千田　佳史		千田　佳史
	午後					白戸　圭介
歯科・口腔外科	1	中田　憲	中田　憲	中田　憲	中田　憲	中田　憲
禁煙外来※現在休止中	月・水午後のみ	（中山　豊）		（工藤　和夫）		
緩和ケア外来		越村　裕美	越村　裕美	越村　裕美	越村　裕美（午前）	越村　裕美（午後）
スポーツ整形外来	毎週木曜日 最終木曜日休診				藤井　昌	
女性泌尿器科外来	毎週月・金	三浦　喜子				三浦　喜子
不整脈外来	毎週木曜日				阿部　芳久	

＊医師の異動や手術等により内容に変更が生じることがあります。

市立秋田総合病院
患者サポートセンター地域医療連携担当
［業務時間］月～金曜日 8:30～17:00 ※左記以外の時間帯で、緊急の場合は表紙の代表番号へご連絡ください。
［TEL］018-883-4406（直通）［FAX］018-866-7169（直通）［e-mail］ro-homd@city.akita.akita.jp